

編集後記

我が國が長期に亙る占領から解放されて丁度半年、總選舉も終つて新しく選ばれた國會並びに政府に占領行政の殘滓を拂拭した清新な政治が期待されている。國際關係の微妙な今日、獨立國家と稱しても程度の差こそあれ何らかの制約や義務を荷せられることは、今日世界の大多數の國家が免がれ得ない運命にある。併し我が國では、過ぐる半年の間に、所謂修整と稱する逆コース現象がはやいくつかに現出している。かかる傾向は、今後とも更に助長されるであろうことは想像に難くない。保健衛生關係は、占領期間中にいくつかのエポックメーカーな業績を挙げたが、連合軍の後楯がなくなつた今日に於ては、勢力均衡の變動によつて樂觀を許さぬようになつてゐる。厚生省や府縣衛生部の存在すら一時は危殆に瀕した事實に徴しても、將來とも全く安心する譯には行かぬ我が國の現状である。この邊の趨勢については、新政府の動向を我々は嚴重に見守る必要がある。

この間にあつて、病院問題については愈々各方面の關心が昂まりつゝある情勢にあることは御同慶に堪えない。大學病院の改革も遅々として徐々々に具體化せんとする趨勢にあるし、我が國の病院問題も愈々核心に觸れて來たのを感じる。近代病院の使命が漸次民衆に理解されようとしているのも心強い。併し病院内の具體的な問題となるとまだ未解決な分野が少くない。此の春以來、東京附近の病院關係者の間では、病院に於ける放射線科の在り方、臨床検査室の在り方、メデイカルレコードの基準化等夫々の専門家に依つて検討がなされている。何れそのうちに結論が出されて來ることゝ思うが、この種の改革はその當事者が如何に頑張つてみた處でどうにもなる譯でなく、その周りの人達の理解ある協力を是非必要とする。

今日我が國で病院の改革をしようとする際、必要以上に苦心するのは病院の構造そのものが古い

觀念で造られていることに基因する場合が多い。文部省の大學病院改善委員會で、先づ病院建築の方式が検討されていることは當然の成行である。その道の専門家、専門書の少い我が國の現状に鑑み、米國に於ける病院建築行政の決定版である「Design and Construction of General Hospitals」の譯出を小川技官にお願いすることゝした。御参考になる點が尠くないと信ずる。

病院經營の實態を把握する爲には、その様な觀點から作られた病院統計資料が是非必要である。昨今大きな組織をもつ病院經營當局に於ては厚生省を始めとし漸次よい統計が作られる様になつて來た。病院統計は病院經營の羅針盤である。高田氏による精神病院の經營資料もその様な意味で注目され活用されることが望ましい。X線室については醫療法並びに同施行規則によつて詳細な管理上の規則があるが、實際の運用面に於ては必ずしも充分の對策が講じられているとは云えない。こと人命に關する問題故、病院としては1日も忽がせにできない處であろう。このこと自體は夙に識者の注目している處と思うが、X線室管理上の責任をもつ病院管理者の再考を促がしたい。その意味で、國立山形病院、山形大學の協同研究の成績を御参考に供する。看護婦に關しては、まだこゝ當分の間問題が少くないと思われる。一番の原因は、その絶對數の問題であるので、數が増してくれば自ら緩和される筈である。唯看護婦が出て來る丈でも餘程事態が變るであろう。それ迄は、要するに病院のどの部門により多く看護婦に俟たねばならぬ仕事があるか、ということを考えればよいのではなからうか。Air Conditioningについては先に本欄でふれておいたが、先般病院學會東京地方會でなされた講演が評判よかつたので廣く誌友に御紹介することゝした。(小西)

— 表紙説明 —

寫眞は日本專賣公社東京病院正面玄関